

「やすらぎ文庫」だより

No29号
平成30年8月

～今号の本のご紹介～

様々な病気の自己管理について展開されているシリーズをご紹介します。
A4サイズで文字が大きめです。

「やさしい過活動膀胱の自己管理」 医薬ジャーナル社 武田 正之 編

50歳以上の8人に1人が過活動膀胱といわれています。命にはかかわらないものの、生活に大きく支障が出るこの病気。この本では、生活習慣、膀胱訓練、理学療法、薬物療法などの視点による自己管理の方法がまとめられています。

「これだけは知っておきたい 降圧薬の知識と自己管理」

医薬ジャーナル社 日和田 邦男 編

血圧を下げる薬を飲んでいる方は多いのではないのでしょうか。この冊子では、降圧薬の内服に関する素朴な疑問に医師が答えてくれています。「降圧薬は一生飲まねばならない?」「同じ降圧薬を飲み続けていると、その薬の効きが悪くならないか?」などの疑問の解決に。

「やさしい食後高血糖の自己管理」 医薬ジャーナル社 加来 浩平 編

“食後の”高血糖に注目を、という考えは浸透しつつあるように思われます。食後高血糖について勉強できる1冊です。なぜ、食後高血糖が重要なのか、どうして起こるのか、コントロールするための生活、薬物療法などについて書かれています。特に、境界型と言われている方へ。

お子さま向けの本、あります。



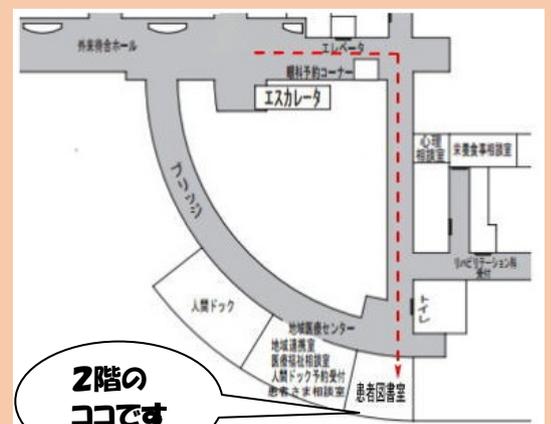
インターネットで医療情報を
無料で検索できます。



君津中央病院
患者さま図書室
「やすらぎ文庫」

外来2階
地域連携室の隣

月～金
9:00～12:00
13:00～16:00
(土日・祝日・振替日
年末年始はお休みです)



2階の
ここです